インストールガイド

AXIS P5532 PTZ ドームネットワークカメラ

AXIS P5534 PTZ ドームネットワークカメラ

日本語

法律上の注意事項

ビデオまたは音声監視は法律によって禁止されている場合があり、その内容は国によって異なります。本製品を監視用途でご利用になる前に、ご利用頂く地域の法律を確認してください。
本製品には H.264 デコーダ用のライセンスが 1 つ含まれています。追加ライセンスのご購入については、Axis 製品の販売店にお問い合わせください。

電波に関する適合性 (EMC)

本装置は無線周波数を発生、使用、放射するため、指示通りにインストールおよび使用されていない場合は、無線通信に有害な妨害を招く恐れがあります。ただし、特定のインストールにおいて妨害が生じないという保証はありません。

本装置がラジオおよびテレビ受信機に対して有害な妨害を招き、本装置の電源の入 / 切を行うことによって本装置が原因であると確認できた場合は、次の 1 つまたはそれ以上の措置にしたがって妨害を是正してください。受信アンテナの方向を変更するか、再配置を行う。本装置と受信機の間隔を広げる。本装置を、受信機が接続されているものとは異なる電源に接続する。販売店または経験を積んだラジオ / テレビ技術者に相談する。EMC 基準に準拠するには、本装置でシールド付き (STP) ネットワークケーブルを使用する必要があります。

米国 - This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B computing device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC rules, which are designed to provide reasonable protection against such interference when operated in a commercial environment. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause interference, in which case the user at his/her own expense will be required to take whatever measures may be required to correct the interference.

カナダ - This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003

欧州 - This digital equipment fulfills the requirements for radiated emission according to limit B of EN55022, and the requirements for immunity according to EN55024 residential and commercial industry.

日本 - この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 製品です。この装置を家庭環境でラジオやテレビ受信機に近接して使用すると、無線妨害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しく設置および使用してください。

豪州 - This electronic device meets the requirements of the Radio communications (Electromagnetic Compatibility) Standard AS/NZS CISPR22:2002.

韓国 - Class B: 本装置は家庭での使用のためのEMC登録を取得しているため、住宅地を含むいかなる地区でも使用できます。

安全性

EN 60950-1 (IEC 60950-1) Safety of Information Technology Equipment (情報処理装置等の安全規格) に適合しています。

装置の改造

本装置は、必ず本書やユーザーズマニュアルの手順にしたがってインストール、および使用してください。本装置にはユーザーが独自に交換や修理を行える部品は含まれていません。無許可で装置を変更したり、改造したりした場合、適用されている規制証明や認可がすべて無効になります。

責任

本書の制作には細心の注意を払っていますが、不正確な記述や脱落、乱丁または落丁を見つけられた場合は、最寄りの Axis 事業所までご連絡ください。また Axis Communications AB は、技術的な間違いや誤字・脱字などに対して責任を持たず、予告なく製品や文書の記載内容に対して変更、修正を行う権利を保持します。Axis Communications AB は、本書に含まれる内容について、商用性および製品の特定用途に対する適性についての黙示的な保証を含め、一切保証を行いません。Axis Communications AB は、この資料、資材の提供、パフォーマンス、使用の結果に関連した付随的または結果的な損害に対して責務および責任を負いません。

RoHS

本製品は、欧州 RoHS 指令 (2002/95/EC) および中国RoHS指令 (ACPEIP) に適合しています。

WEEE 指令

The European Union has enacted a Directive 2002/96/EC on Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE Directive). This directive is applicable in the European Union member states.
The WEEE marking on this product (see right) or its documentation indicates that the product must not be disposed of together with household waste. To prevent possible harm to human health and/or the environment, the product must be disposed of in an approved and environmentally safe recycling process. For further information on how to dispose of this product correctly, contact the product supplier, or the local authority responsible for waste disposal in your area.
Business users should contact the product supplier for information on how to dispose of this product correctly. This product should not be mixed with other commercial waste.

サポート

技術サポートが必要な場合は、Axis 製品の販売店にお問い合わせください。Axis 販売店がお客様のご質問にすぐに回答できない場合は、適切な部門に転送し、早急に回答いたします。インターネットをご利用の場合は、次のことができます。

- ユーザーズマニュアルやファームウェアの更新をダウンロードする。
- FAQ データベースで問題の解決方法を見つける。データベースは、製品別、カテゴリー別、または語句を使用して検索できます。
- 専用サポートエリアにログインして、Axis サポートに問題を報告する。

AXIS P5532/P5534 は 3.0V CR2032 リチウムバッテリを使用しています。詳細については、23 ページを参照してください。

AXIS P5532 & AXIS P5534 インストールガイド

このインストールガイドでは、お使いのネットワークに AXIS P5532/P5534 PTZ ドームネットワークカメラをインストールする手順について説明しています。本製品の使用に関するその他の事項の説明については、ユーザーズマニュアルを参照してください。ユーザーズマニュアルは、製品に付属の CD または www.axiscom.co.jp からご覧いただけます。

インストール手順

1. 下のリストで、パッケージの内容を確認してください。
2. ハードウェアの概要。4 ページを参照してください。
3. ハードウェアをインストールします。
   - 6 ページを参照してインストールの準備を行います。
   - 天吊り型取付方法については、7 ページを参照してください。
   - 埋め込み型取付方法については、8 ページを参照してください。
   - ブラケット (オプションのアクセサリ) を使用する取付方法については、10 ページを参照してください。
   - AXIS T8123 High PoE Midspan 1-port を接続します。11 ページを参照してください。
4. IP アドレスを設定します。12 ページを参照してください。
5. パスワードを設定します。15 ページを参照してください。

重要！
本製品はお使いになる国の法律および規制にしたがって使用してください。

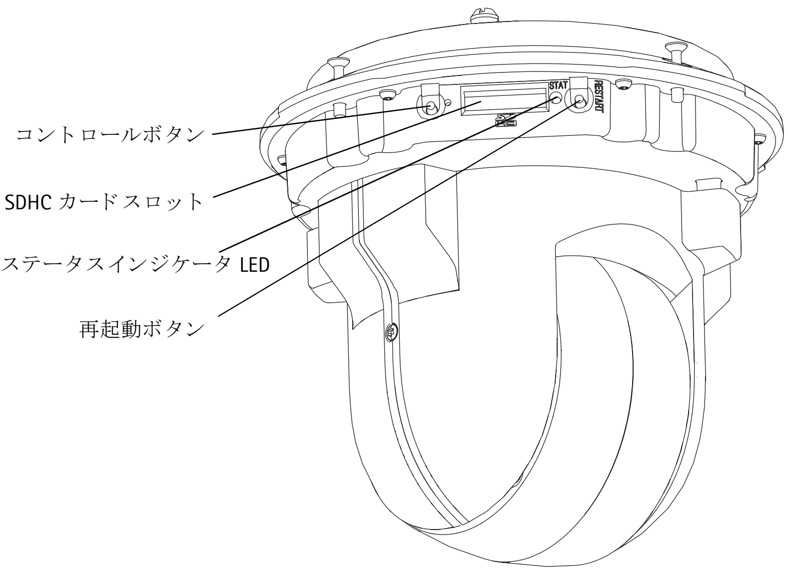
① パッケージの内容

品目	モデル / 型 / 注
ネットワークカメラ	AXIS P5532 AXIS P5534
ドームカバー	クリア (透明) カバー (取付済み) スモーク (半透明) カバー
取付キット	天吊り型取付および埋め込み型取付キット、トルクスドライバ
High PoE Midspan	AXIS T8123
CD	AXIS ネットワークビデオ製品 CD (製品マニュアル、インストールツール、その他のソフトウェアを含む)
印刷物	AXIS P5532/P5534 ネットワークカメラインストールガイド (本書)、Axis 保証書、ドリル用テンプレート、予備のシリアル番号ラベル (2 枚)、AVHS 認証キー

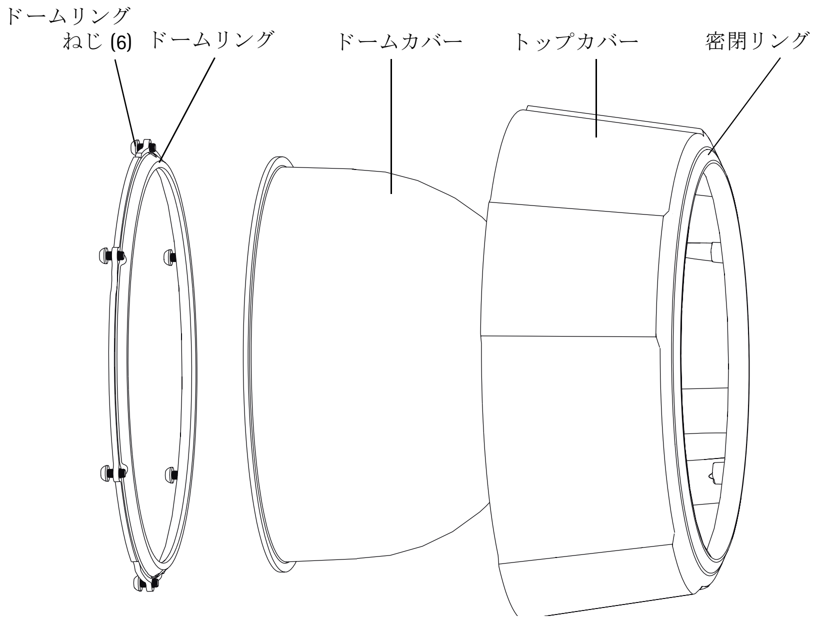
オプションのアクセサリ	AXIS T91A 取付用アクセサリ 入出力 (I/O)、オーディオ、電源接続用マルチコネクタケーブル 電源用アクセサリおよび屋外ハウジングについては、www.axiscom.co.jp を参照してください。

❷ ハードウェアの概要

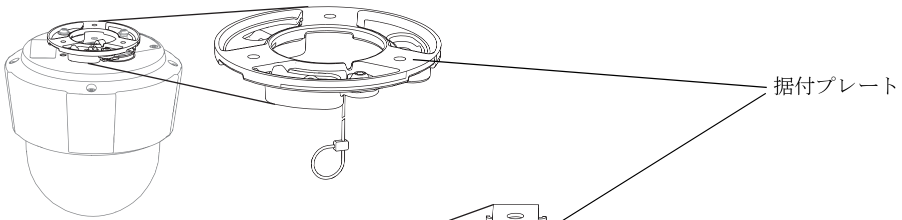
カメラユニット



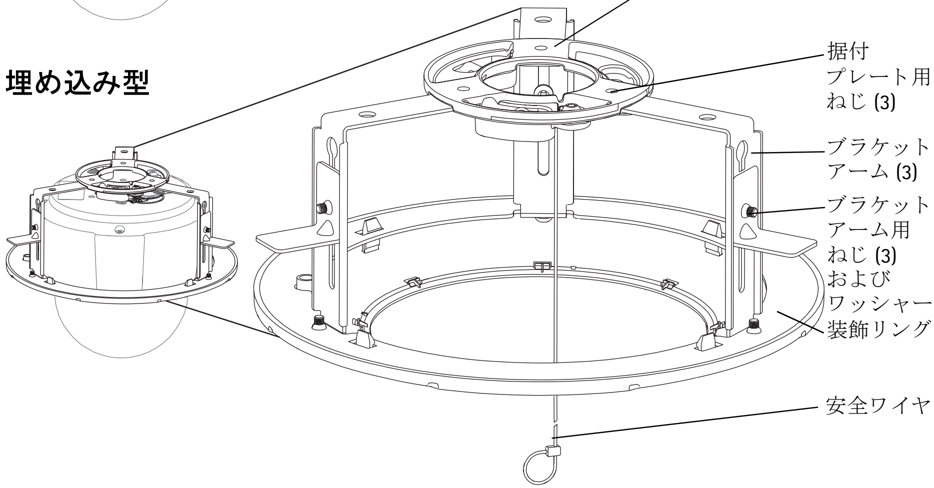
ドームカバー

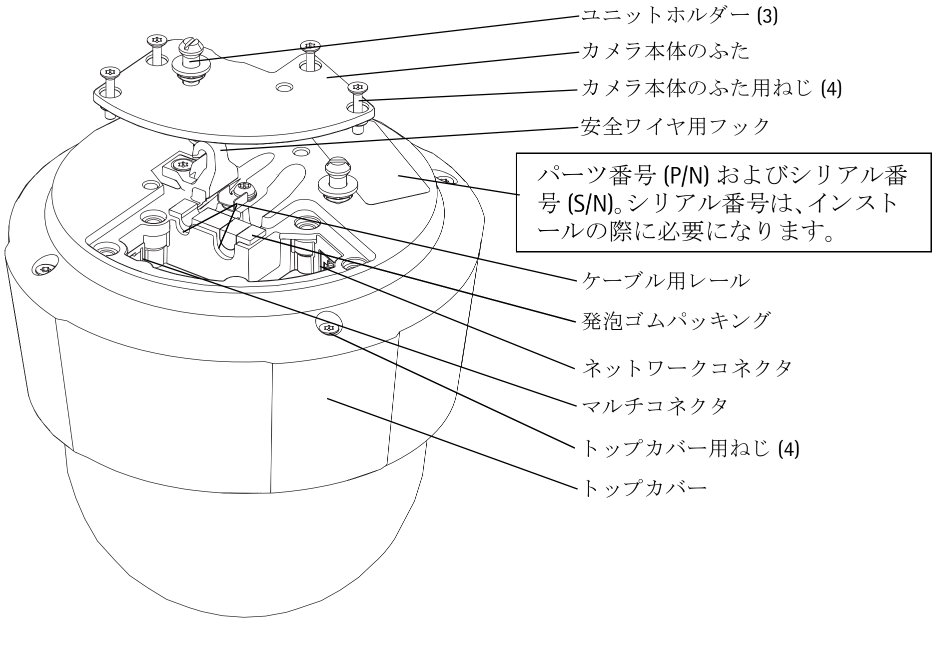


天吊り型



埋め込み型





日本語

❸ ハードウェアのインストール

! 重要！ - AXIS P5532/P5534 を屋外で使用する場合は、サポート対象の屋外ハウジングを利用して設置を行ってください。屋外ハウジングの詳細については、www.axiscom.co.jp を参照してください。

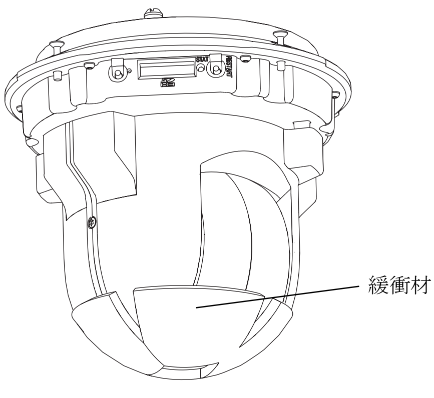
インストールの準備

インストールの準備手順では、トップカバーを取り外すことが必要なステップが複数あるため、これらのステップを同時に行えるようすべての手順をよく読んでから AXIS P5532/P5534 の取付準備を行ってください。

- 以下の緩衝材を取り除くの手順にしたがって、カメラの取付前に緩衝材を取り除きます。
- カメラには、クリア透明カバーとスモーク半透明カバーが付属しています。必要な場合は、クリア / 半透明ドームカバーを交換する (オプション) の手順にしたがって、ドームカバーを交換します。
- ネットワークカメラ内に画像を保存するには、標準または大容量の SD カード (別売) が必要になります。以下の SD カードを取り付ける (オプション) の手順にしたがって、トップカバーを取り外し、SD カードを取り付けます。

緩衝材を取り除く

1. トップカバーのねじ 4 本を緩めて、トップカバーを取り外します。5 ページの図を参照してください。
2. 緩衝材を取り除きます。



3. クリアまたはスモークのドームカバーを交換したり、SD カードを取り付ける場合は、以下のクリア / 半透明ドームカバーを交換する (オプション) および SD カードを取り付ける (オプション) の手順にしたがってください。
4. トップカバーを元の位置に取り付け、ねじを締めます。

クリア / 半透明ドームカバーを交換する (オプション)

1. トップカバーのねじ 4 本を緩めて、トップカバーを取り外します。5 ページの図を参照してください。
2. ドームリングのねじ 6 本を取り外し、トップカバーからドームリングを取り外します。
3. ドームリングとドームカバーをトップカバーに取り付け、ねじ 6 本を締めて固定します。
4. SD カードを取り付ける場合は、以下の SD カードを取り付ける (オプション) の手順を参照してください。
5. トップカバーを元の位置に取り付け、ねじを締めます。

注意 :

ドームカバーに傷が付いたり破損しないように、注意して取り扱ってください。ドームカバーをカメラユニットに取り付ける前に、柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

日本語

SD カードを取り付ける (オプション)

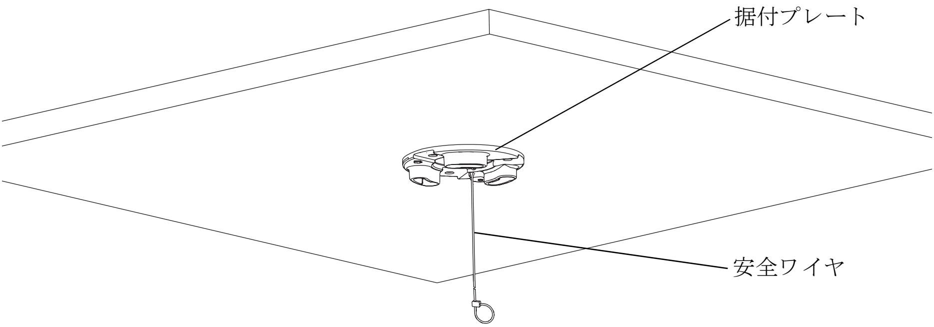
1. トップカバーのねじ 4 本を緩めて、トップカバーを取り外します。5 ページの図を参照してください。
2. SD カード (別売) を SDHC (Secure Digital High Capacity) カードスロットに挿入します。
3. トップカバーを元の位置に取り付け、ねじを締めます。

注意 :

SD カードは、SDHC カードスロットに挿入されると、自動的にマウントされます。ただし、SD カードを取り出す前には、カメラの Web ページ上でマウント解除を行ってください。マウント解除を行うには、**[Setup] > [System Options] > [Storage] > [SD Card]** ページの **[Unmount]** ボタンをクリックします。詳細については、本製品付属の AXIS ネットワークビデオ製品 CD に含まれているユーザーズマニュアルを参照してください。または、www.axiscom.co.jp の Web サイトをご覧ください。

天吊り型

1. 据付プレートを天井に取り付ける準備をします。製品付属のドリル用テンプレートを使用して、穴の位置を決めます。必ず材質に適したドリルビット、ねじ、およびプラグを使用してください。
2. 据付プレートを取り付けます。

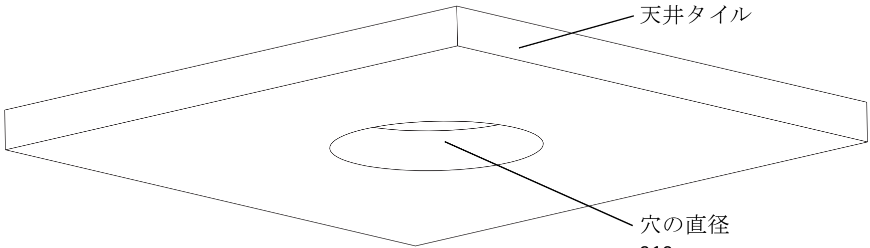


3. カメラ本体のふた用ねじ 4 本を緩めて、カメラ本体のふたを取り外します。5 ページの図を参照してください。

4. ネットワークケーブルとマルチコネクタケーブル (必要な場合) を配線して、ネットワークカメラに接続します。接続する際にケーブルが破損しないように、注意して取り扱ってください。発泡ゴムパッキングの穴がケーブルレールの位置と合っているか確認してください。必要な場合は、発泡ゴムパッキングからマルチコネクタケーブル用の切り取り部分を取り外してください。
5. カメラ本体のふたを元の位置に取り付け、ねじを締めます。
6. 付属の安全ワイヤを使用して、カメラをしっかり固定します。
7. ネットワークカメラのユニットホルダーを据付プレートの溝穴に滑り込ませ、カメラユニットを回転させます。
8. High PoE Midspan 1-port を接続します。AXIS T8123 High PoE Midspan 1-port の接続、11 ページを参照してください。
9. Midspan の LED インジケータが正しい状態を示していることを確認します。詳細については、21 ページの表を参照してください。

埋め込み型

1. 埋め込み型取付を行う天井タイルを取り外します。
2. 付属のテンプレートを使用して、天井タイルの 210 mm の穴の位置にマークを付けます。テンプレートに沿って天井タイルを切り取ります。

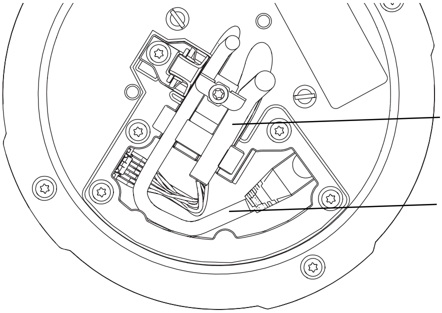


注意：

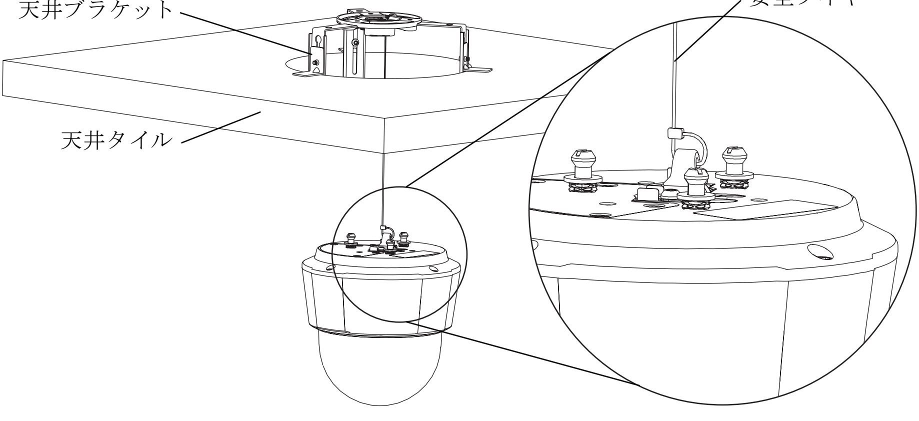
- カメラと天井取付部品の総重量は、約 2.3 kg です。天井の素材にこの重量を十分に支えられる強度があることを確認してください。
- 天井タイルの厚みは 5 mm 〜 60 mm であることが必要です。

3. 天井ブラケットを組み立てます。
4. 天井ブラケットを天井タイルの穴に通します。9 ページの図を参照してください。
5. トルクス 20 のドライバーを使用して、ブラケットアームのねじを締めます。
6. カメラ本体のふた用ねじ 4 本を緩めて、カメラ本体のふたを取り外します。5 ページの図を参照してください。

7. ネットワークケーブルとマルチコネクタケーブル (必要な場合) を配線して、ネットワークカメラに接続します。接続する際にケーブルが破損しないように、注意して取り扱ってください。発泡ゴムパッキングの穴がケーブルレールの位置と合っているか確認してください。必要な場合は、発泡ゴムパッキングからマルチコネクタケーブル用の切り取り部分を取り外してください。

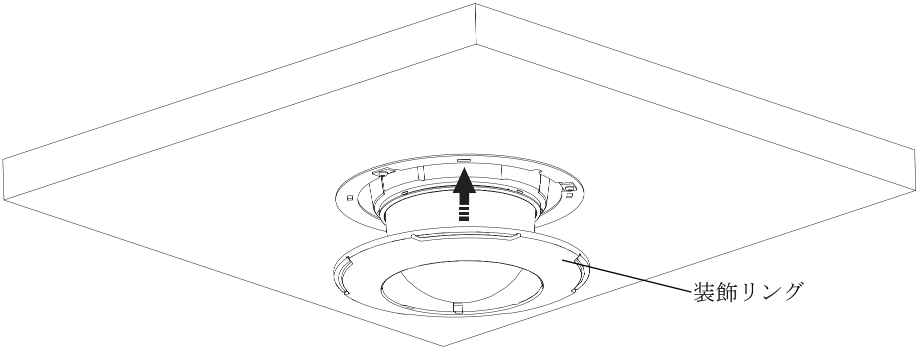


8. カメラ本体のふたを元の位置に取り付け、ねじを締めます。
9. 付属の安全ワイヤを使用して、カメラをしっかり固定します。



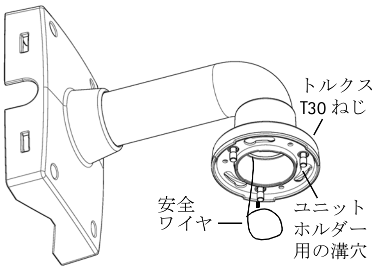
10. ネットワークカメラのユニットホルダーを据付プレートの溝穴に滑り込ませ、カメラユニットを回転させます。
11. High PoE Midspan 1-port を接続します。AXIS T8123 High PoE Midspan 1-port の接続、11 ページを参照してください。
12. Midspan の LED インジケータが正しい状態を示していることを確認します。詳細については、21 ページの表を参照してください。
13. カメラを取り付けた天井タイルを天井に戻します。

14. 天井ブラケットと装飾リングの位置合わせをし、しっかりはめ込みます。



ブラケット (オプションのアクセサリ) を使用する取付

1. 選択したブラケットを、ブラケットに付属の取扱説明書にしたがって取り付けます。穴開けが必要な場合は、素材に適したドリルビット、ねじ、およびプラグを使用してください。
2. カメラ本体のふた用ねじ 4 本を緩めて、カメラ本体のふたを取り外します。5 ページの図を参照してください。
3. ネットワークケーブルとマルチコネクタケーブル (必要な場合) を、取り付けたブラケットの穴を通して配線します。



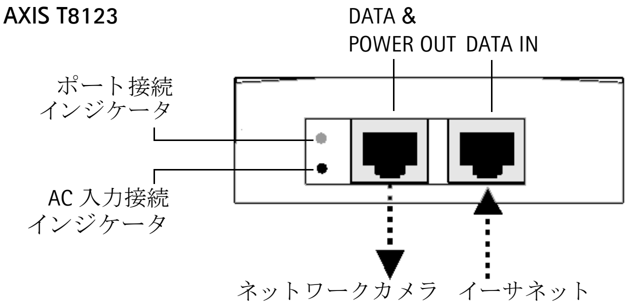
壁面ブラケット (取付例)

4. カメラをブラケットの安全ワイヤに引っ掛けます。
5. ネットワークケーブルとマルチコネクタケーブル (必要な場合) をネットワークカメラに接続します。
6. AXIS T8123 を接続します。AXIS T8123 High PoE Midspan 1-port の接続、11 ページを参照してください。
7. カメラ本体のふたを元の位置に取り付けます。
8. ネットワークカメラのユニットホルダーをブラケットの溝穴に滑り込ませ、カメラユニットを回転させます。
9. 3 本のねじ (トルクス T30) を締め付け、取り付けたブラケットにネットワークカメラを固定します。

AXIS T8123 High PoE Midspan 1-port の接続

AXIS T8123 High PoE Midspan 1-port を使用すると、電力消費量が大きい Axis ネットワークビデオ製品でも、1 本のイーサネットケーブルを使用してデータ送受信と電力供給を行うことができます。AXIS T8123 を接続するには、次の手順にしたがってください。

1. 標準的なネットワークケーブルを利用して、AXIS T8123 (DATA IN) をネットワークスイッチに接続します。
2. カメラに接続されているネットワークケーブルを使用して、AXIS T8123 (DATA & POWER OUT) をネットワークカメラに接続します。
3. 付属の電源ケーブルを使用して、AXIS T8123 を電源コンセント (100 V AC) に接続します。



Midspan の LED の詳細については、AXIS T8123 の Status インジケータ、21 ページを参照してください。

❹ IP アドレスの設定

現在、ほとんどのネットワークでは、DHCP サーバーを使用して自動的に接続デバイスにIPアドレスを割り当てています。ネットワークにDHCPサーバーが導入されていない場合、ネットワークカメラは、192.168.0.90 をデフォルトの IP アドレスとして使用します。

固定 IP アドレスを設定したい場合、Windows 用ソフトウェアである **AXIS IP Utility** または**AXIS Camera Management**のいずれかの使用をお勧めしています。設置するカメラの台数に応じて、目的に最も合った手段をお選びください。

これらはいずれも無償のソフトウェアで、製品に付属する AXIS ネットワークビデオ製品 CD に収録されています。また、Axis のホームページ www.axiscom.co.jp からダウンロードしてご利用いただけます。

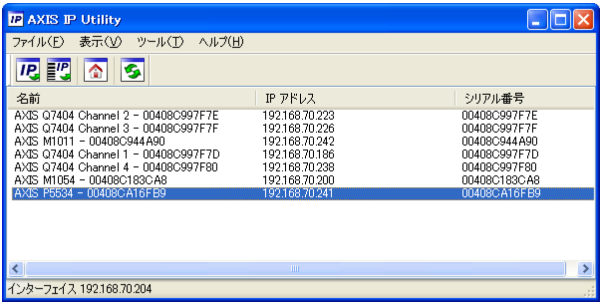
使用できる手段	**推奨されるカメラ設置環境**	**オペレーティングシステム**
AXIS IP Utility 参照ページ 13 ページ	1 台のカメラ 小規模インストール	Windows
AXIS Camera Management 参照ページ 14 ページ	複数台のカメラ 大規模インストール 異なるサブネットでの導入	Windows 2000 Windows XP Professional Windows Server 2003 Windows Vista Windows 7

注意：

- IP アドレスの設定が行えない場合は、ファイアウォールによって設定が妨げられていないかどうか確認してください。
- 他の OS を使用する場合など、その他の IP アドレスの設定および検出方法については、17 ページを参照してください。

AXIS IP Utility を利用する (1 台のカメラ / 小規模インストール向き)

AXIS IP Utility は、ネットワーク上の Axis デバイスを自動的に検出して表示します。また、このアプリケーションでは手動で固定 IP アドレスを設定することができます。



ネットワークカメラは、AXIS IP Utility が動作しているコンピューターと同じネットワークセグメント (物理サブネット) に接続されていることが必要です。

自動検出機能

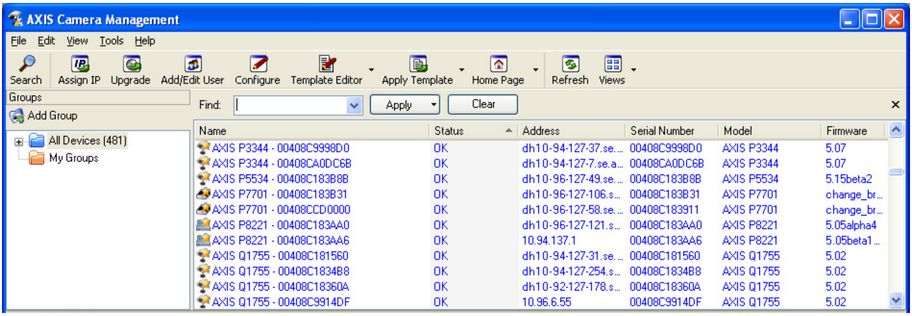
1. ネットワークカメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS IP Utility を起動します。
3. ウィンドウにカメラが表示されたら、それをダブルクリックするとホームページが開きます。
4. パスワードの設定方法については、15 ページを参照してください。

IP アドレスの手動設定 (オプション)

1. コンピューターと同一のネットワーク セグメントで、未使用の IP アドレスを入手します。
2. リストでネットワーク カメラを選択します。
3. [**選択したデバイスに新しいIPアドレスを設定**] ボタン  をクリックして、IPアドレスを入力します。
4. [**IP を設定**] をクリックし、画面の指示にしたがいます。新しい IP アドレスを設定するには、2 分以内にカメラを再起動する必要があります。
5. [**ホームページ**] をクリックして、カメラの Web ページにアクセスします。
6. パスワードの設定方法については、15 ページを参照してください。

AXIS Camera Management (複数台のカメラ / 大規模インストール向き)

AXIS Camera Management はネットワーク上の複数の Axis デバイスを自動的に検出し、接続ステータスの表示、ファームウェアのアップグレード、IP アドレスの設定などを行うことができるソフトウェアです。

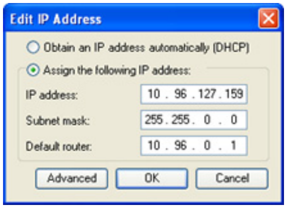


自動検出機能

1. カメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。
2. AXIS Camera Management を起動します。ウィンドウにネットワークカメラが表示されたら、リンクを右クリックして、[Live View Home Page] を選択します。
3. パスワードの設定方法については、15 ページを参照してください。

1 台のデバイスの IP アドレスを設定する

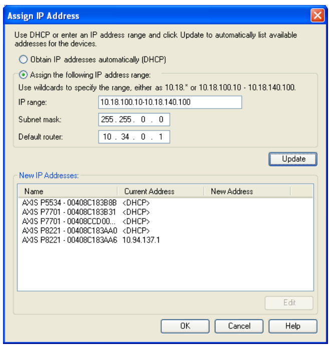
1. AXIS Camera Management でネットワークカメラを選択し、[Assign IP] ボタンをクリックします。
2. [Assign the following IP address] を選択し、デバイスに設定する IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトルータの値を入力します。
3. [OK] をクリックします。



複数台のデバイスの IP アドレスを設定する

AXIS Camera Management を利用すると、特定の IP アドレスの範囲を指定することにより複数台のデバイスにまとめてIPアドレスを割り当てることができ、設定作業を迅速化することができます。

1. 設定したいデバイスを選択し (異なるモデルも選択可能)、[Assign IP] ボタンをクリックします。
2. [Assign the following IP address range] を選択し、デバイスに設定する IP アドレスの範囲、サブネットマスク、デフォルトルータの値を入力します。
3. [Update] ボタンをクリックします。設定される IP アドレスが [New IP Addresses] の下に一覧表示されます。この一覧を編集するには、デバイスを選択して [Edit] をクリックします。
4. [OK] をクリックします。



❺ パスワードの設定

製品にアクセスするには、まずデフォルトの管理者 (root) 用のパスワードを設定する必要があります。この設定は、ネットワークカメラに初めてアクセスしたときに表示される、[Configure Root Password] ダイアログで行います。

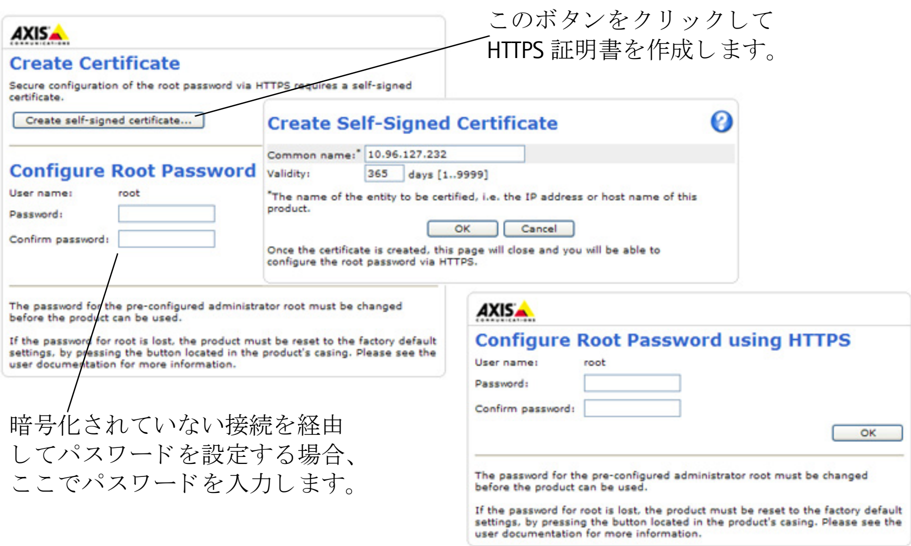
root パスワード設定時にネットワーク上で盗聴されるのを防ぐため、パスワードの設定は暗号化された HTTPS 接続を使用して行うことができますが、この場合には HTTPS 証明書が必要です。

注意 : HTTPS (Hypertext Transfer Protocol over SSL) は Web ブラウザーとサーバー間のトラフィックを暗号化するためのプロトコルです。HTTPS 証明書は暗号化された情報の受け渡しをコントロールします。

標準 HTTP 接続でパスワードを設定するには、以下の最初のダイアログに直接入力してください。

HTTPS 暗号化接続を使用してパスワードを設定するには、次の手順にしたがってください。

1. [Create self-signed certificate] ボタンをクリックします。
2. 必要な情報を入力して [OK] をクリックします。証明書が作成され、これでパスワードを安全に設定できます。この時点から、ネットワークカメラとの間で送受信されるすべてのデータトラフィックが暗号化されます。
3. パスワードを入力し、スペルミスがないかを確認するために再入力します。[OK] をクリックします。これでパスワードの設定が完了しました。



4. ログインするには、画面の要求にしたがってユーザー名 "root" を入力します。

   注意 : デフォルトの管理者ユーザー名である root は削除できません。

5. 上記の手順で設定したパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

   注意 : パスワードを忘れてしまった場合、カメラを工場出荷時設定にリセットする必要があります。22 ページを参照してください。

ビデオストリームにアクセスする

ネットワークカメラの [Live View] ページが表示されます。ここには Setup ツールへのリンクがあり、このリンクを使用してカメラをカスタマイズできます。

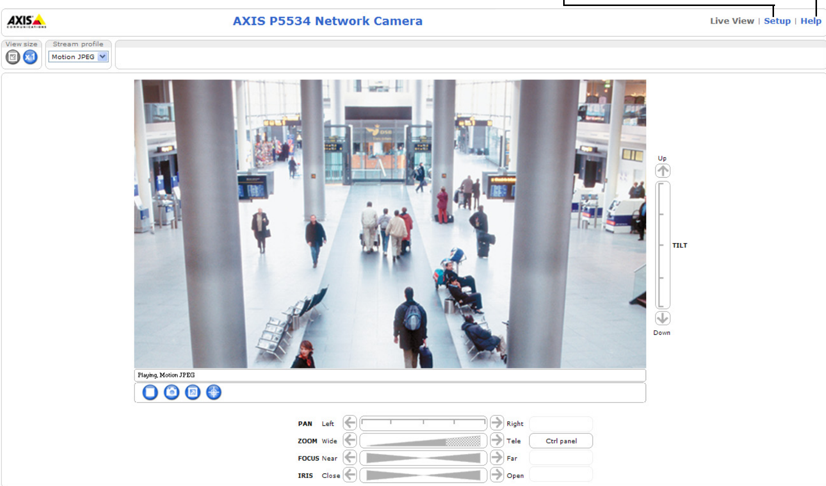
必要な場合、[Yes] をクリックしてAMC (AXIS Media Control) をインストールすると、Internet Explorer でビデオストリームを表示できます。インストールするには、コンピューターの管理者権限が必要です。

必要に応じてリンクをクリックし、足りないデコーダーをインストールしてください。

注意 : Windows 7/Windows Vista 環境に AMC をインストールするには、管理者権限で Internet Explorer を実行する必要があります。[Internet Explorer] アイコンを右クリックし、[管理者として実行] を選択します。

Setup - お客様の要件にしたがってカメラを設定するために必要なすべてのツールを提供します。

Help - カメラの使用に関する総合的なオンラインヘルプが表示されます。



IP アドレスのその他の設定方法

次の表では、その他の IP アドレスの設定または検出方法を説明しています。すべての方法はデフォルトで有効になっていますが、無効にすることもできます。

	対応オペレーティングシステム	説明
AVHS サービス接続	すべて	カメラを AVHS サーバーに接続するには、サービスプロバイダーのインストールガイドを参照してください。各地域で利用可能な AVHS サービスプロバイダーを探すには、www.axis.com を参照してください。
UPnP™	Windows	コンピューターで有効に設定されている場合、カメラが自動的に検出されて、[マイネットワーク] に追加されます。
Bonjour	MAC OS X (10.4 以降)	Bonjour に対応したブラウザーで使用できます。ブラウザー (Safari など) の Bonjour ブックマークに移動し、リンクをクリックしてカメラの Web ページにアクセスします。
AXIS Dynamic DNS Service	すべて	Axis が無償で提供するサービスで、カメラをすばやく簡単にインストールできます。サービスの利用には、HTTP プロキシを使用しないインターネット接続が必要です。詳細については、www.axiscam.net を参照してください。
ARP/Ping	すべて	以下を参照してください。コマンドの実行は、カメラに電源を接続してから 2 分以内に行う必要があります。
DHCP	すべて	ネットワークの DHCP サーバーの管理者ページを表示する方法については、サーバーのマニュアルを参照してください。

ARP/Ping を使用して IP アドレスを設定する

1. コンピューターが接続されているネットワークセグメントと同一のネットワークセグメントで IP アドレスを入手します。
2. カメラの製品ラベルに表示されているシリアル番号 (S/N) を見つけます。
3. コンピューターでコマンドプロンプトを開き、次のコマンドを入力します。

Windows での構文：	Windows での例：
arp -s <IP アドレス> <シリアル番号> ping -l 408 -t <IP アドレス>	arp -s 192.168.0.125 00-40-8c-18-10-00 ping -l 408 -t 192.168.0.125
UNIX/Linux/Mac での構文：	UNIX/Linux/Mac での例：
arp -s <IP アドレス> <シリアル番号> temp ping -s 408 <IP アドレス>	arp -s 192.168.0.125 00:40:8c:18:10:00 temp ping -s 408 192.168.0.125

4. ネットワークケーブルがカメラに接続されていることを確認します。次に、電源を取り外してから接続し直し、カメラを起動 / 再起動します。
5. 画面に 'Reply from 192.168.0.125: ...' またはこれに類似する応答メッセージが表示されたら、コマンドプロンプトを閉じます。
6. ブラウザーのロケーション / アドレスフィールドに「http://<IP アドレス>」を入力し、キーボードで Enter キーを押します。

注意：

- Windows でコマンドプロンプトを開くには、[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行...] を選択し、cmd と入力してから [OK] をクリックします。
- Windows 7またはWindows VistaでARPコマンドを使用するには、コマンドプロンプトのアイコンを右クリックし、[**管理者として実行**] を選択します。
- Mac OS X で ARP コマンドを使用するには、Application > Utilities の Terminal utility を使用します。

ユニットコネクタ

ネットワークコネクタ – 一般的な RJ-45 イーサネットコネクタ。High PoE (Power over Ethernet、IEEE 802.3at) に対応。製品に付属の AXIS T8123 High PoE Midspan 1-port を使用してください。EMC に準拠するよう、シールド付きケーブルを使用してください。

マルチコネクタ – 以下の外部機器を接続するためのターミナルコネクタ：

- オーディオ機器
- 入出力 (I/O) デバイス
- AC/DC 電源

外部機器を AXIS P5532/P5534 に接続するには、IP51 規格準拠を維持するために、マルチコネクタケーブルが必要です。マルチコネクタケーブルは、Axis 製品の販売店で購入できます。詳細については、本製品付属の AXIS ネットワークビデオ製品 CD に含まれているユーザーズマニュアルを参照してください。または、www.axiscom.co.jp の Web サイトをご覧ください。

SDHC カードスロット – ネットワークカメラ内で画像を保存するには、標準または大容量の SD カード (別売) が必要になります。SD カードを挿入または取り出す際は、カメラのトップカバーを取り外す必要があります。詳しくは、SD カードを取り付ける (オプション)、7 ページを参照してください。

注意：

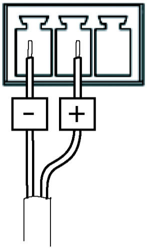
SD カードを取り出す前には、記録されたデータの破損を防ぐため、必ず SD カードをマウント解除してください。SD カードのマウントを解除するには、［**Setup**］> ［**System Options**］> ［**Storage**］> ［**SD Card**］の ［**Unmount**］ボタンをクリックします。詳細については、本製品付属の AXIS ネットワークビデオ製品 CD に含まれている、ユーザーズマニュアルを参照してください。または、www.axiscom.co.jp の Web サイトをご覧ください。

マルチコネクタケーブル (別売)

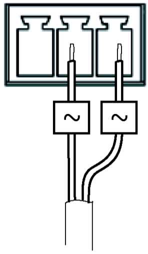
外部機器を AXIS P5532/P5534 に接続するには、カメラの IP51 規格準拠を維持するために、マルチコネクタケーブルが必要です。マルチコネクタケーブルは、Axis 製品の販売店で購入できます。

マルチコネクタケーブルをカメラのマルチコネクタに接続します。5 ページの図および 7 ページと 8 ページの手順を参照してください。ケーブルには次のコネクタがあります。

電源コネクタ – 電源入力に使用する 3 ピンのターミナルブロック。



DC 電源入力
24-34 V DC、最大 17.1 W

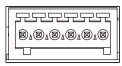


AC 電源入力
20-24 V AC、最大 33.6 VA

音声入力 (ピンク) – モノラルマイクロフォン、またはラインインモノラル信号 (ステレオ信号から左チャンネルを使用) を接続できます。3.5 mm ジャック。

音声出力 (緑) – 場内放送設備やアンプ内蔵のアクティブスピーカーに接続できる音声出力 (ラインレベル)。3.5 mm ジャック。また、ヘッドフォンを接続することもできます。この端子への接続には、ステレオコネクタを使用してください。

I/O ターミナルコネクタ – 動体検知、イベントトリガー、録画、アラーム通知などのアプリケーションで使用。I/O ターミナルコネクタには、補助電源や GND ピンのほかに、入力または出力のどちらかに設定できるピンが 4 つあります。これらのピンは以下の機能に対するインターフェイスを提供します。



- デジタル出力 - リレーや LED などの外部デバイスを接続します。接続したデバイスは、VAPIX® API (アプリケーションプログラミングインターフェイス)、**[Live View]** ページの出力ボタン、または **[Event Type]** で動作させることができます。アラームデバイスが起動されると、出力は active と表示されます (**[Events]** > **[Port Status]** の下に表示)。

- デジタル入力 - オープンサーキットとクローズサーキットの切り替えが可能なデバイスを接続するためのアラーム入力。赤外線、ドアや窓の接触、ガラス破壊検知などがその例です。状態の変化による信号が受信されると、状態が変化して入力が active になります ([Events] > [Port Status] の下に表示)。

機能	ピン	説明	仕様
GND	1	グランド	
3.3 V DC 電源	2	補助デバイスに電源を供給することができます。 **注意 :** このピンは電源出力のみとして使用してください。	最大負荷 = 250 mA
設定可能 (入力または出力)	3-6	デジタル入力 - 動作させるにはGNDに接続します。動作しないようにする場合はフロート状態 (未接続) にしてください。	最小入力 = -40 V DC 最大入力 = +40 V DC
		デジタル出力 – オープンドレイン NFET トランジスターを使用。ソースを GND に接続。外部リレーとともに使用する場合は、過渡電流を避けるためにダイオードを負荷と並列に接続する必要があります。	最大負荷 = 100 mA 最大電圧 = +40 V DC

AXIS P5532/P5534 の Status インジケータ

色	説明
消灯	安定接続、通常動作時
オレンジ色	システム初期化または工場出荷時設定へのリセット時に点灯、ファームウェアのアップグレード中に点滅
オレンジ色 / 赤色	ネットワークに接続されていません
赤色	ファームウェアのアップグレードに失敗
緑色	正常に再起動した後 10 秒間点灯

注意 :

AXIS P5532/P5534 の Status インジケータの詳細については、本製品付属の AXIS ネットワークビデオ製品 CD に含まれているユーザーズマニュアルを参照してください。または、www.axiscom.co.jp の Web サイトをご覧ください。

AXIS T8123 の Status インジケータ

LED	色	説明
ポート	消灯	カメラが接続されていません
	点滅	電源の過負荷状態またはその他の入力電圧エラー
	緑色	カメラが接続され、正常動作中
AC 入力	緑色に点灯	AC 電源接続中

工場出荷時設定にリセットする

カメラを工場出荷時設定にリセットするには、以下の説明のようにカメラの側面にあるコントロールボタンと再起動ボタンを使用します。ボタンの位置については、ハードウェアの概要、4 ページを参照してください。

コントロールボタンと再起動ボタンを使用してリセットを行うと、IP アドレスを含むすべてのパラメータが工場出荷時設定にリセットされます。

1. 緩衝材を取り除く、6 ページを参照して、トップカバーを取り外します。
2. コントロールボタンと再起動ボタンを同時に押したままにします。
3. 再起動ボタンから手を放し、コントロールボタンは押したままにします。
4. Status インジケータがオレンジ色に変わるまで、コントロールボタンを押したままにします (約 15 秒程かかります)。
5. コントロールボタンを放します。
6. Status インジケータが緑色に変化したら (1 分ほどかかる場合があります)、カメラのリセットは完了です。これでユニットの IP アドレスがデフォルトの 192.168.0.90 になりました。
7. トップカバーを元の位置に取り付けます。
8. IP アドレスを設定し直すには、IP アドレスの設定、12 ページで説明した方法で行ってください。

パラメータを工場出荷時設定にリセットするには、Web インターフェイスを使用することもできます。詳細については、オンラインヘルプまたは本製品付属の AXIS ネットワークビデオ製品 CD に含まれているユーザーズマニュアルを参照してください。

インターネットを経由してカメラにアクセスする

インストールが完了すると、お使いのローカルネットワーク (LAN) でネットワークカメラにアクセスできるようになります。インターネットを経由してカメラにアクセスする場合は、受信トラフィックを受け入れるようネットワークルータを設定する必要があります (通常、特定のポートで行います)。

- 閲覧と設定を行う場合は、HTTP ポート (デフォルトポート ：80)
- H.264 ビデオストリームを閲覧する場合は、RTSP ポート (デフォルトポート ：554)

詳しくは、お使いのルータのマニュアルを参照してください。この他のトピックについて詳しくは、Axis のサポートサイト (www.axis.com/techsup) を参照してください。

関連情報

ユーザーズマニュアルは、製品付属の AXIS ネットワークビデオ製品 CD または Axis のホームページ (www.axiscom.co.jp) からご覧いただけます。

ヒント！
www.axis.com/techsup にアクセスして、ネットワークカメラのファームウェアのアップデート版がリリースされていないかどうか確認してください。現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには、[Setup] > [About] をクリックします。

安全性に関する告知 – バッテリ交換

AXIS P5532/P5534 は、内部のリアルタイムクロック (RTC) 用電源として 3.0V CR2032 リチウムバッテリを使用しています。通常、このバッテリは最低 5 年間使用できます。バッテリが低電力の状態となると、RTC の動作に影響し、電源オンのたびにリセットされます。バッテリの交換が必要になった場合、ログメッセージが表示されます。バッテリは、このように必要な場合以外には交換しないでください。
バッテリの交換が必要になったときは、www.axis.com/techsup を参照してください。

- バッテリは、正しく交換しないと爆発する危険があります。
- メーカーが推奨する同じバッテリまたは同等のバッテリのみと交換してください。
- 使用済みバッテリを廃棄する際は、メーカーの指示にしたがって処分してください。

インストールガイド	Ver. 2.00
AXIS P5532/P5534	印刷日：2010 年 4 月
© アクシスコミュニケーションズ株式会社、2009-2010 年	Part No. 38574